

2004年11月29日

各位

ミレアグループの2004年度修正利益・業績指標見込について

株式会社ミレアホールディングス(取締役社長 石原邦夫)は、今般、本年5月に策定したグループの2004年度修正利益および業績指標の見込を、以下の通り修正いたしました。

国内損保事業における、異常危険準備金の取崩や株式売却益による影響が反映されない「修正利益」の本年度の見込につきましては、台風等の大規模自然災害が頻発したことにより、下記の通り大幅に減少する見込です(別紙1参照)。

しかしながら、国内損保事業における本年度の財務会計上の当期純利益につきましては、中間期において支払備金となっている前述の自然災害保険金が実際に支払われることに伴って発生する異常危険準備金の取崩等を反映いたしますので、期初見込の約800億円程度を確保できる見通しです(別紙2参照)。また、財務基盤・経営の健全性にも、大きな影響はありません。

一方、国内生保事業におきましては、当上半期の状況や今後の見通し等を踏まえ、本年度修正利益について期初計画からの下方修正を行っております。

ミレアグループでは、本年度の最重要課題であった損保事業子会社の合併を10月に完了させ、国内損保事業において他の追随を許さない盤石の事業基盤を築くとともに、経営資源の再配分機能を発揮することで、国内生保事業や海外保険事業など他の事業領域の更なる伸長を目指して、引き続き継続的な収益の拡大を図ってまいります。

2004年度修正利益およびROEの見込

事業領域		2004年度期初計画	2004年度見込	2005年度の姿
修正利益	国内損保事業	約850億円	約100億円	収益に占める割合を7割程度にする。
	国内生保事業	約270億円	約240億円	収益に占める割合を3割程度にする。
	海外保険事業(現地法人)	約90億円	約65億円	
	うちミレアアジア	約20億円	約10億円	
	その他事業	約10億円	約10億円	
グループ合計	約1,220億円	約415億円	1,600億円程度	
修正ROE		4%程度	1.3%程度	6%程度

収益・ROEは、企業価値を的確に把握し、その拡大に努める観点から「修正利益ベース」とします(詳細は別紙3をご参照ください)。

2005年度の姿は昨年11月に公表したグループ中長期戦略で示したものです。ROEは、株式含み益の変動要素を捨象した前提で計算しています。

主要事業領域の業績指標は別紙1をご参照ください。

以上

主要事業領域の業績指標

1. 国内損保事業

当上半期の状況も踏まえ、東京海上日動の中期計画（Nextage2005 -実行-）を基に各業績指標を作成しています。

(億円)

	2004 年度期初計画	2004 年度(見込)	2005 年度
正味収入保険料	19,050 <17,492>	19,052 <17,522>	20,000 <18,400>
事業費率(%)	31.5 <34.3>	31.4 <34.2>	30.2 <32.8>
修正利益	約 8 5 0	約 1 0 0	1,100 億円程度

注：< >内は自賠償再保険制度改定の影響を除いたベースです。

2. 国内生保事業

当上半期の状況も踏まえ、生保事業子会社各社の事業計画を基に業績指標を作成しています。変額ビジネスについても順調な拡大が見込める状況となったことから、東京海上日動あんしん生命の見込に加え、下記の通り東京海上日動フィナンシャル生命の見込も織り込んでおります。

(億円)

	2004 年度期初計画	2004 年度(見込)	2005 年度
新契約年換算保険料計	6 0 3	6 7 4	7 5 1
うちあんしん生命	6 0 3	5 8 6	6 2 5
うちフィナンシャル生命	-	8 8	1 2 6
修正利益	約 2 7 0	約 2 4 0	-

注：新契約年換算保険料につきましては、従来は第1回保険料額を月払は1.2倍、半年払は2倍、年払は1倍、一時払は1/1.0倍して算出しておりましたが、今回より全期間の払込保険料総額を保険期間で除して1年あたりの保険料に換算した金額としております。保険期間が終身の場合、総払込保険料額および保険期間を80歳までの期間で算定し、その期間が10年より短い場合は10年間として算定しております。

3. アジア保険事業（海外保険事業）

海外では、高い収益性と成長性が期待されるアジア市場に引き続き重点を置いてまいります。ミレアアジア傘下にある17の既存オペレーションの計画をベースに、今後見込まれる事業展開の要素も加味して業績指標を作成しております。

(億円)

	2004 年度期初計画	2004 年度(見込)	2005 年度
正味収入保険料	4 1 0	3 2 7	5 0 0
修正利益	約 2 0	約 1 0	-

注：正味収入保険料は各現地法人に対するミレアグループの持株割合を乗じたネット数値です。

国内損保事業の修正利益の主要修正要因

2004年度の国内損保事業の財務会計上の当期純利益見込額と修正利益見込額の間、主要な修正要因は以下の通りとなっております。

2004年度 国内損保事業の当期純利益見込額 約 800億円

【主要修正要因】

異常危険準備金取崩額 約 440億円

保有株式・不動産等に関する売却・評価損益等 約 930億円

その他 約 280億円

税引前修正要因合計 約 1,090億円

税引後修正要因合計 約 700億円

2004年度 国内損保事業の修正利益見込額 約 100億円

修正利益・修正ROEについて

$$\text{修正ROE} = \text{修正利益} \div \text{修正資本}$$

1. 利益

(1) 損保事業

$$\text{修正利益} = \text{当期純利益} + \text{異常危険準備金繰入額※1} + \text{価格変動準備金繰入額※1} - \text{ALM債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益※2} - \text{保有株式・不動産等に関する売却・評価損益等} - \text{その他の特殊要素}$$

(2) 生保事業



※1 取崩額の場合はマイナスする

※2 ALM=資産・負債総合管理
ALMの負債時価変動見合いとして除外

※3 EV、Embedded Value
純資産価値に、保有契約から将来得られるであろう利益の現在価値を加えた指標
(主にヨーロッパの生命保険会社で普及)

(3) 海外保険事業、その他の事業 … 財務会計上の当期純利益を使用

2. 資本(平均残高ベース)

(1) 損保事業

$$\text{修正資本} = \text{資本} + \text{異常危険準備金} + \text{価格変動準備金}$$

(2) 生保事業

$$\text{修正資本} = \text{Embedded Value}$$

(3) 海外保険事業、その他の事業 … 財務会計上の資本を使用

(注) すべて税引後ベース